

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行

千葉県君津農業事務所
君津地域農業改良普及事業協議会

編集

千葉県君津農業事務所
改良普及課



夏にはかき氷やスムージーも販売します。



桜の花を摘み、塩漬けにして、「桜アイスクリーム」に。



アイスクリームに入れるジャムの試作試験。



東京ドイツ村の「みるく家」は、土日中心の営業です。

アイスを通して、袖ヶ浦の味を届けたい!!
農事組合法人みずき会

農事組合法人みずき会は、袖ヶ浦市の酪農家の女性達が、消費者に牛乳の利用方法をアピールするために、平成19年に発足した組織で、現在、理事11名、スタッフ7名で活動しています。

みずき会では、袖ヶ浦市産の牛乳や様々な農産物を使って作るアイスクリームとソフトクリーム等の製造販売を行っています。牛乳以外の原材料にもこだわりたいと、アイスクリームに加えるカボチャや小糸在来は理事たちが全て栽培し、イチゴ、パッションフルーツ等も一部栽培しています。

袖ヶ浦市農畜産物直売所「ゆりの里」の「牧場のアイス」コーナーとJAきみつ味楽園さだもと店ではアイスクリームとソフトクリームを購入いただけます。また、平成26年冬から販売を開始した東京ドイツ村内の「みるく家」では、アイスクリームのほかに、冬季には、袖ヶ浦市産のダイコンや卵を使った「みそ田楽」も販売して好評です。東京ドイツ村内では、夏休みなどに食育活動として「バター作り体験」も行っています。

「アイスクリームを通して、酪農家の現状と袖ヶ浦市の農業を消費者に伝えたい」と、会員は日々、関係団体の応援を受けながら団結して活動しています。

袖ヶ浦市特産推奨品のアイスクリームをぜひお試しください。
(本居)

チャレンジ!! 「水稲プール育苗」

水稲プール育苗は、従来の育苗に比べ、かん水作業と育苗ハウスの開閉管理を省力化できるなどのメリットがあります。

〈プール設置準備〉

まず、プールに水が十分確保できるように、ハウス内の地面を均平化し、パイプや角材等で、高さ5〜7cm程度の外枠を作ります。傾斜が大きい場合は、いくつかに仕切りましょう。また、取り外し可能な部分(水尻)を作り、水位が簡単に調節できるようにします。次に、苗箱の幅より50〜80cm程度広い幅のビニール(厚さ0.1mm以上)を敷いてプールにします。透明なビニールだけの場合、下から発生した雑草が原因で穴が開き、湛水状態が保たれなくなる場合がありますので、下に遮光性のあるシートを敷くと安心です。なお、緑化期までの管理は慣行育苗と同様です。



順調な生育のプール育苗

〈温度管理〉

緑化終了後、覆土が隠れる位の水をプールに入れます。その後、床土より高く、苗が水没しない程度に入水します。プール育苗は湛水で管理できるため温度の影響を受けにくくかん水作業が大幅に軽減されます。気温は日中25℃以下、夜間10℃

以上を目安とし、育苗ハウスの側窓は、基本的に昼夜開放して管理します。ただし、翌朝に霜・低温注意報が出る場合や最低気温が5℃以下の場合にはハウスを閉め、水を深めにして保温に努めましょう。急な天候の変化には十分注意して下さい。確実な温度管理のため、気温計や水温計を設置し、確認しましょう。



温度チェックを忘れずに

〈移植までの留意点〉

移植2〜3日前にはプールの水を切り、苗箱を軽くします。ただし、プール苗は乾燥に弱いいため、苗箱運搬の際には乾燥しすぎないように注意しましょう。

(青木)

注目!! 話題の水稲省力化技術

鉄コーティング 湛水直播栽培

鉄コーティング湛水直播栽培(以下鉄コ)は、県内では平成17年に導入され、君津地域でも、27年には、7戸12.3畝で取り組まれました。直播栽培にすると、育苗作業が不要で、収穫が遅くなるため、同じ品種でも作期をずらすことができず。移植時の苗運びが不要となるため、作業の軽労化も期待できます。

〈鉄コ栽培の特徴〉

鉄コは、浸種した種子に鉄粉を粉衣し、代かきした水田土壌表面に専用の播種機を使って播種する方法です。従来の方法に比べ、被膜の鉄が重いので浮き苗になりにくい、スズメなどの食害が少ない、催芽した種子の長期保存が可能なため、冬の間にも予め種子粉衣でき、



水田土壌表面に播種した状態

播種準備作業を前倒しできるなどのメリットがあります。

〈導入に当たっての留意点〉

播種から出芽揃い期にかけて、きめ細やかな水管理が必要です。移植栽培よりも、一層ほ場を均平にすることが重要となります。また、除草剤を適期に処理しないと、雑草が多くなり、移植栽培以上に初期生育への影響があります。



移植栽培と比べて遜色のない生育

〈活用方法〉

最近では、主食用米の需要減少の中、新たな施策の一つとして飼料用米の取り組みも進んでいます。鉄コは、飼料用米栽培の省力化やコスト低減技術の一つとしても注目されています。導入を検討される方は、ご相談ください。

(市原)

レタス 作業環境を 見直して 効率を 上げよう!



レタス栽培では、出荷調製作業（外葉とり・包装・選別・箱詰め等）が全作業時間の約1/3を占めています。体への負担を軽減し、作業効率を上げるために、これらの作業を見直しましょう。

◇作業効率を上げるための「3つのS」

①整理：必要なものと不要なものを仕分けることです。必要な（使用頻度の高い）ものは取り出しやすい場所に置く、たまに使うものは別の場所に置く、使わないものは処分します。

②整頓：いつでも誰でも、必要なものが必要な時に効率よく取り出せるようになっていることです。置く場所を決める、ラベルをつける等で、ものを探す時間を減らしましょう。

③清掃：きれいに掃除し、その状態を保つことです。また、機械等は、使用後の清掃と合わせて点検し、修繕が必要な箇所をいち早く見つけましょう。

◇管内のレタス作業場の調査結果から
昨シーズン、レタス作業場を調査した結果、以下のような改善点がありました。

①室内の明るさ

出荷調製作業では500lux以上必要ですが、それより暗い作業場がほとんどでした。室内の明るさは、もの見やすさや選別のしやすさに影響します。20歳の人が必要な明るさを1とした時に、50歳では1.4倍、60歳では2.5倍の明るさが必要といわれます。高齢の方ほど、明るく見やすい環境が必要です。

対策として、室内の蛍光灯を増やす、天井や壁紙を明るい色にする、扉や壁をくもりガラス等の透光性のあるものにする等があります。また、照明は、手元に影ができない位置に配置しましょう。



作業者の手が明るくなるように配置された照明

②コンテナの移動
コンテナの移動は人力がほとんどですが、ローラーレールや台車を使うことで、小さな力で移動させることができます。



↑コンパネで自作した台車

ローラーレールで → コンテナを楽々移動

また、コンテナに入れるレタスの量を、コンテナを重ねられる程度にすることで、持ち上げる時の腰への負担を軽減できるだけでなく、コンテナを重ねてストックすることで保管スペースを減らすことができます。



↑レタスを入れたコンテナを重ねて保管、移動
←コンテナを重ねられるようにレタスの量を加減



③作業姿勢

しゃがみ作業は、腰や膝に負担がかかります。外葉とりをする時は、椅子に座って作業することで体の負担を軽減できます。その際には、レタスを入れるコンテナの高さを、椅子の高さにあわせましょう。

出荷期間中は毎日行う調製作業だからこそ、少しでも体への負担が少なく作業できるように、できることから取り入れてみませんか。（田中）

君津地域の農業を支える農業士

第39回千葉県農業士・千葉県指導農業士の認証式典が昨年11月20日に行われ、県下で指導農業士19名、農業士35名が新たに認証されました。君津地域では、農業士4名が認証されました。地域農業への貢献、地域の活性化に向けた活躍が期待されます。



(右から長谷川博氏、市川桂一郎氏、関口高弘氏、岡崎英樹氏)

【農業士】

■関口 高弘氏(木更津市)
就農とともに中郷地区で観

光いちご栽培を始め、アウトレットやアクアライン効果で年々集客を伸ばしています。天敵昆虫を利用した「ちばエコ栽培」や多品種導入などに取り組んでいます。

■市川桂一郎氏(木更津市)
江川地区でプルメリア、観葉植物などの生産を行っています。近年は熱帯果樹のパッションフルーツの苗と果実生産にも取り組んでいます。花き市場勤務の経験などを経営に生かしています。

■岡崎 英樹氏(木更津市)
矢那地区で230aの大規模梨直売経営を営んでいます。堆肥を活用した土づくりを力を入れ、エコファーマーに認定されています。厳しい選果により顧客の信頼を得ています。

■長谷川 博氏(木更津市)
矢那地区で250aの大規模梨直売経営を営んでいます。雇用を活用し、花芽整理・新梢管理を工夫するなど管理作業

表彰者の紹介

☆平成27年度文化の日

千葉県功労者表彰

〈男女共同参画功労〉

葛田 紀代子氏

(袖ヶ浦市)

葛田氏は、平成22年に「ちば女性農業経営者の会」会長に就任し、農業経営の担い手として経営参画と女性の地位向上に寄与されました。また、千葉県農山漁村いきいきアドバイザー・千葉県指導農業士としてパートナーシップ型農業の実現や地域農業の後継者育成に貢献されています。

(鶴岡)



の改善に取り組み、その梨の味には定評があります。

(押田)

☆平成27年度

全国優良経営体表彰

〈全国担い手育成総合支援

協議会長賞〉

榎本 富英雄氏

(君津市)

榎本氏は、水稻、小麦の大規模経営を行い、特に小麦は県内で唯一の種子生産者です。平成7年に発足した君津市認定農業者協議会の会長を10年間務め、米づくり体験や枝豆収穫祭などの農業体験活動を通じて地域の活性化に尽力されました。また、新規就農希望者を研修生として積極的に受入れるなど、将来の地域の担い手育成に取り組んでいます。

(石井)



☆平成27年度

「ちばコロボ大賞

(千葉県知事賞)」

木更津市

観光ブルーベリー園

協議会

協議会では、会員同士だけでなく、関係機関等とも密接に連携し、摘み取り体験などを通して、地域の新たな魅力づくりや農村部に都市住民を呼び込む活動を展開しています。

(鈴木)

農業経営体育成

セミナーのお知らせ

君津農業事務所では、新たに農業を始めた方(概ね40歳まで)を対象に、農業経営の基本的な知識や技術習得、先進農家の視察や地域の農業者との交流を目的とした農業経営体育成セミナーを開催しています。

3年間の課程を通じて、楽しく仲間づくりをしながら、地域農業の担い手育成を目指しています。興味のある方は改良普及課までご連絡下さい。

(鶴岡)

